

京都の地域産木材による 京都木材会館プロジェクト

提案者(事業者)	京都木材協同組合
設計者	株式会社ゆう建築設計事務所
施工者	吉村建設工業株式会社
建設地	京都市中京区西ノ京小倉町 138

竣工済につき
簡略版としています

竣工済

提案の 概要



A. プロジェクト全体の概要

京都市内の JR 二条駅近くに、京都産木材の利用促進に取り組む京都木材協同組合の事務所の他、店舗、共同住宅からなる純木造（主体構造）4 階建て「京都木材会館」を建設するプロジェクト。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

【木造化】木あらし耐火部材によるラーメン構造（1、2 階）に取り組む。

1 階部分は柱のみ 2 時間耐火部材（平成 26 年 11 月認定取得済）を採用。構造材は京都産杉・檜材を 100% 使用。

【木質化】内外装材についても京都産の杉・檜材を使用し、外装ルーバーも木で製作。

C. 提案のアピールポイント

- 木あらし耐火部材によるラーメン構造（1、2 階に適用）モデルプロジェクト。
- 耐火上重要な 1 階の柱に国内初となる 2 時間耐火部材を使用。
- 上記特徴を持った中高層 4 階建て純木造建築を、京都の木材（杉・檜）を使い、地場の設計事務所、工務店により施工を実現（軸組構法で 4 階に共同住宅は全国初）。
- 京都の景観条例に適合する新しい京都の木造デザインを創出。



交差点から見る外観

評価の ポイント



京都木材協同組合の事務所のほか、店舗、共同住宅からなる 4 階建ての京都木材会館を純木造で建設するプロジェクト。構造材には京都産木材を 100% 使用し、地場の設計事務所・工務店により中層の耐火木造建築を実現しようとするもの。1、2 階は、木あらし耐火部材（木材 + せっこうボード + 木材の 3 層からなる認定部材）を採用した耐火による純ラーメン構造としている。また、外周外壁の一部に、木製ルーバーを用いて、ファサードにも木質の意匠を実現している。地域に根差した木造耐火モデルプロジェクトとして、他の参考となることが期待される。

先端性・先進性

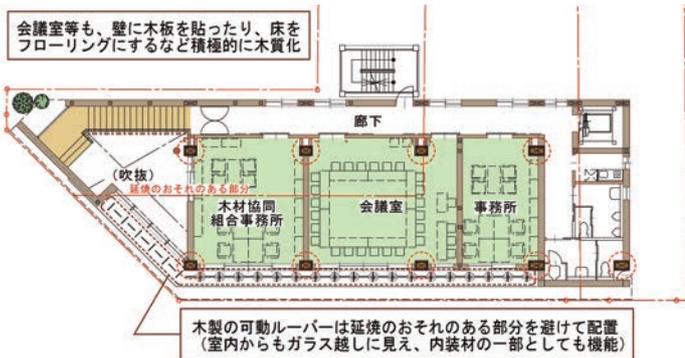
- 耐火の木造ラーメン構造に取り組む（1、2階に適用）。
- 1、2階の柱・梁には木あらし耐火部材を採用し、特に1階の柱には国内初の2時間耐火部材を採用。

波及性・普及性

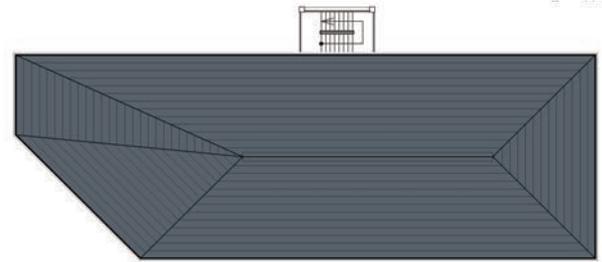
- 耐火＋ラーメン構造のモデルプロジェクト提示により、RC造や鉄骨造と同等の空間を木造で具体的に実現することの波及効果。
- 採用する木あらし耐火部材は、特殊な加工や薬剤処理を必要としないため、地域で耐火木造を実現する有力な選択肢を提供。
- 純木造耐火建築物を京都の木材、地場の設計事務所、工務店で実現することで、地域に根差した木造耐火モデルプロジェクトとして提示。
- 接合金物には「平成22年度文部科学大臣技術賞」、「平成24年度農林水産大臣賞」を受賞し、耐震性・実績共に優れたKES構法を採用。
- 木造軸組構造で4階部分の共同住宅は国内初であり、木造耐火で中層以上の共同住宅を建設するモデルケースとなる。

使用する木材、木質建材の特徴

- 構造材には京都産杉・檜材を100%使用（羽柄材（間柱、垂木他）含む）。
- 集成材製作用丸太については京都産木材を積極的に使用。
- 外装に用いる木製可動ルーバーは、延焼のおそれのある部分から外れているが防火処理（難燃相当）を施した木材を使用。

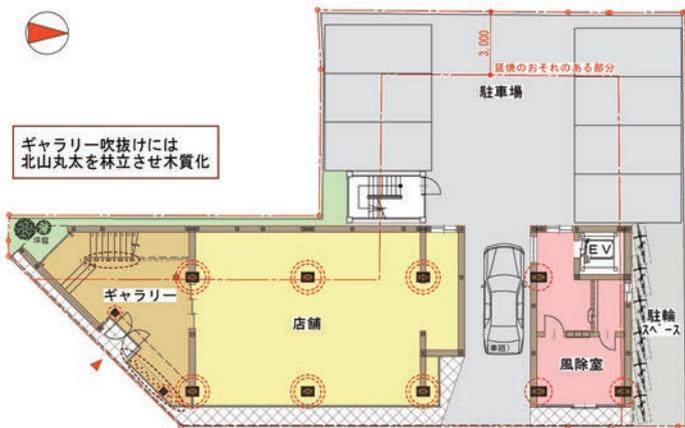


2階平面図

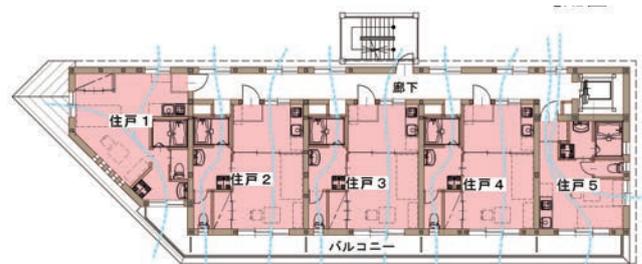


屋根は京都の町並みになじむ落ち着いた色使いで計画（京都独自の景観条例にも対応）

屋根伏図



配置・1階平面図



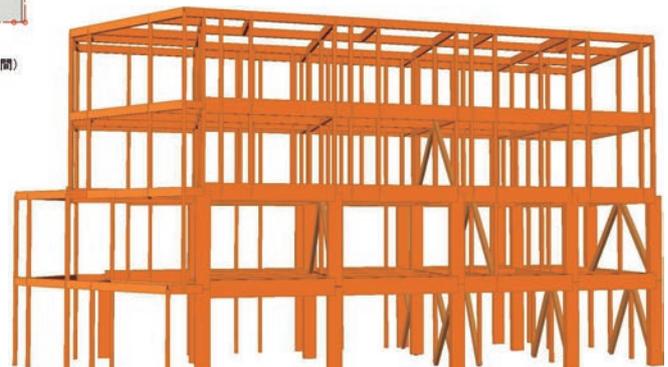
3・4階平面図

京町家の特徴の一つである風の通りみちを計画

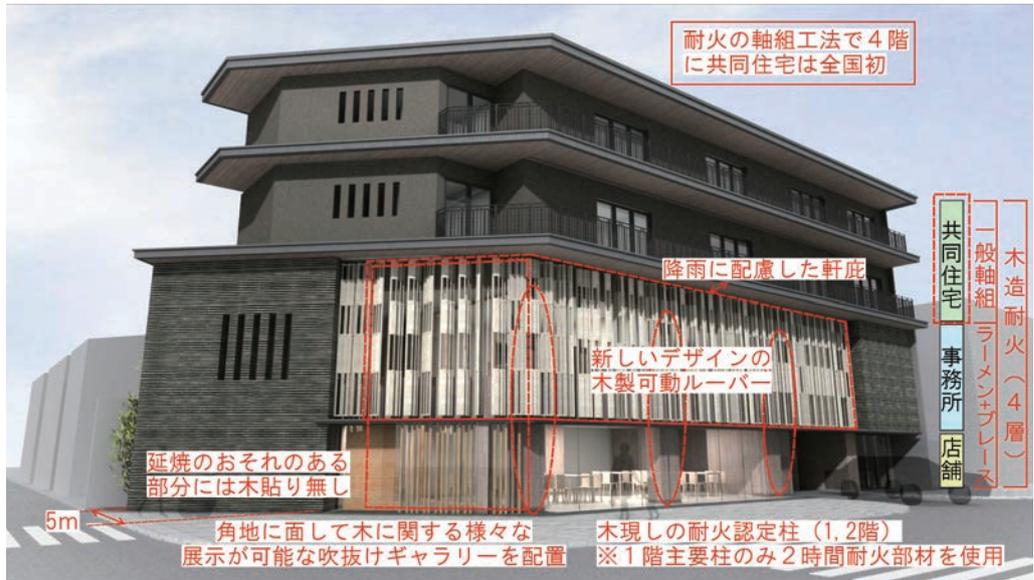


柱断面図

コアとなる木材をせっこうボードで囲み、外部をさらに木材で覆った特許製品。安価で加工しやすく、室内に木をあらしで用いることができる。



架構モデル
1、2階の1方向がラーメン形式



構造・防火面および外観上のポイント

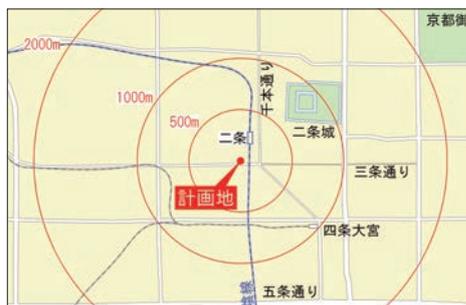
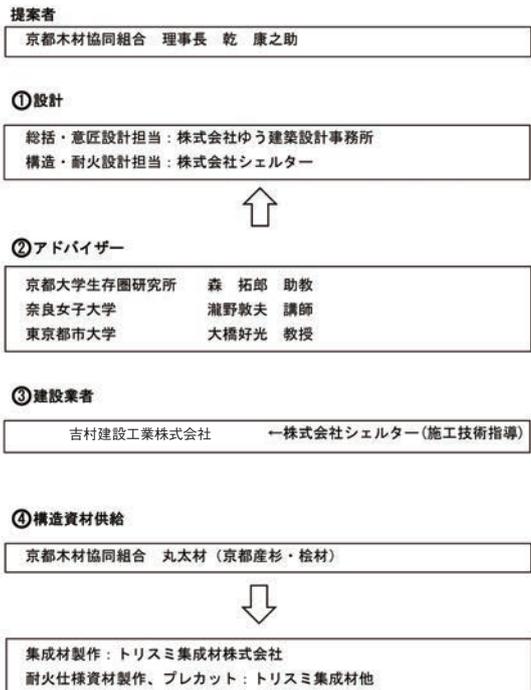
プロジェクト
データ



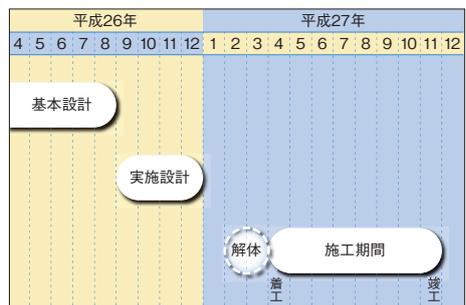
提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は扉頁参照

建物名称：京都木材会館
 主要用途：事務所、店舗、共同住宅
 主要構造：■木造（■軸組構法 □枠組壁工法 □丸太組構法 □その他） □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他
 防火地域等の区分：□防火地域 ■準防火地域 □法22条区域 □その他の地域
 耐火建築物等の要件：■耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） □準耐火建築物（45分耐火） □その他の建築物
 敷地面積：449.10㎡
 建築面積：214.20㎡
 延べ面積：754.50㎡
 軒 高：12.50m
 最高の高さ：13.73m
 階 数：地上4階
 事業期間：平成26年度～27年度
 補助対象事業費：215,530千円
 補助金額：35,969千円

事業の実施体制



事業スケジュール



採択事例 34 京都の地域産木材による
竣工報告 京都木材会館プロジェクト



東側から見る全景



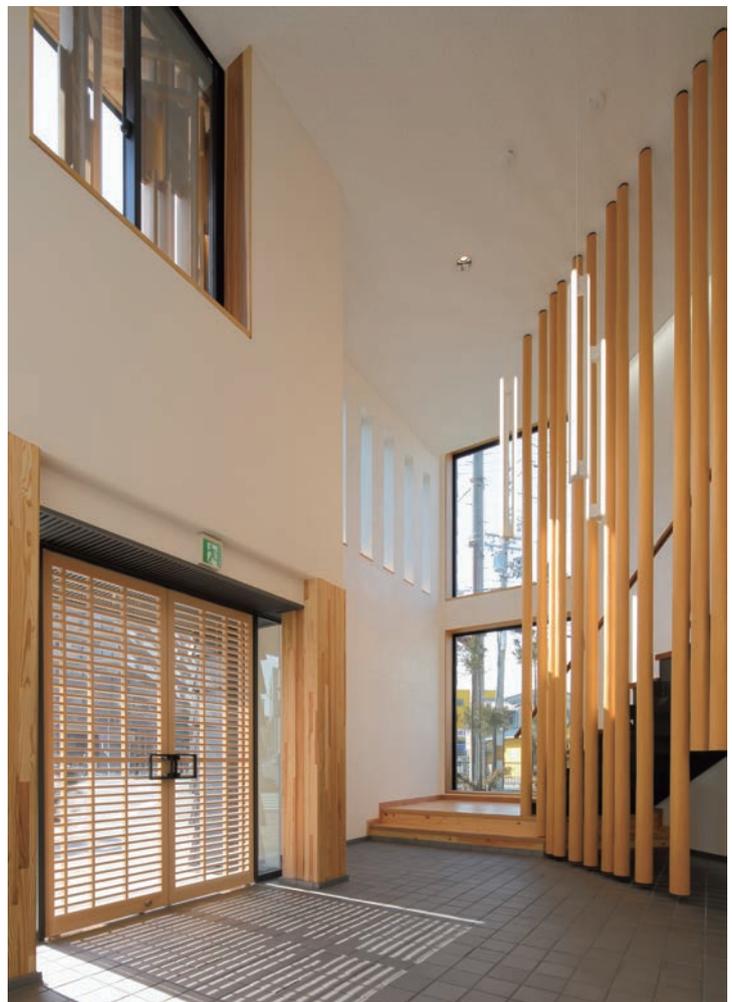
南からの外観



2階会議室



住戸1



南側のギャラリーエントランス